

「自治体行政スマートプロジェクト（市町村・住基・内部管理業務）」（愛知県岡崎市）

提案者	愛知県岡崎市(386,123人)、群馬県前橋市(334,853人)、群馬県高崎市(371,953人)、群馬県伊勢崎市(213,168人)、千葉県市原市(273,412人)、愛知県豊橋市(374,841人)
提案モデル	②市区町村モデル
事業概要	①標準仕様書準拠システムを前提とした住基・窓口業務の業務プロセス構築。②業務プロセス改善の標準モデルを、内部事務に適用させ完成。③住民サービス業務のエンドツーエンドのデジタル化モデルを構築。上記3事業を実施し、Gov-Cloud利用前提の 業務担当者を核に自走できる、DX推進手順を作成 。

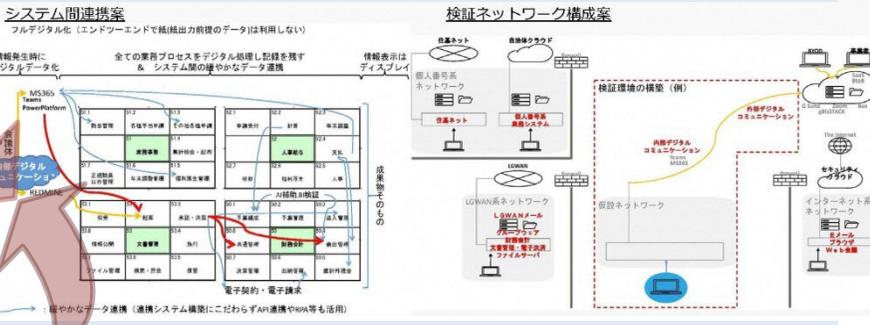
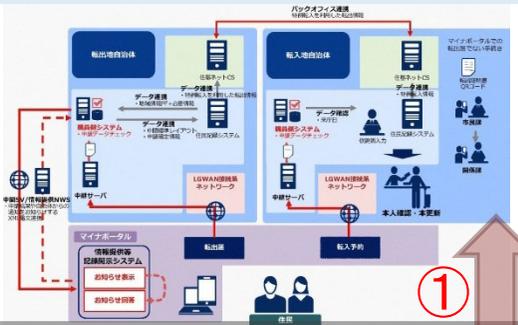
事業概要図



住記標準仕様書準拠システムを想定し、マイナポータル起点の転出・転入手続に係る、住民異動業務全体の業務プロセス構築を行う
プロセス構築にあたっては、住民異動窓口部分に加え決裁・情報管理・統計分析までをデジタルで完結できるプロセスとする

転出・転入手続のデジタル化で得た知見を、住民サービス全体の受付・審査・決裁・支出・情報管理・統計分析に波及させ、内部事務を含む一連の業務のデジタル化モデルを構築する

エンドツーエンドでデジタル化した業務モデルの構築



業務プロセス改善の標準モデルの完成

R1スマ前橋G（住基・窓口業務）
R2スマ豊橋G（税・一括処理業務）
で業務プロセス改善の標準モデルの作成・更新

過去のスマートPJで実施済

現行標準モデルを内部事務に適用し、複数自治体間での業務プロセス標準化・業務効率化を図ることで自治体業務全体を網羅した業務プロセス改善の標準モデルへとブラッシュアップする

